

# 正法寺新聞

第3号



2013年7月発行

洗心婦人会主催春の法要

写真掲載特集号

発行 真宗大谷派 正法寺

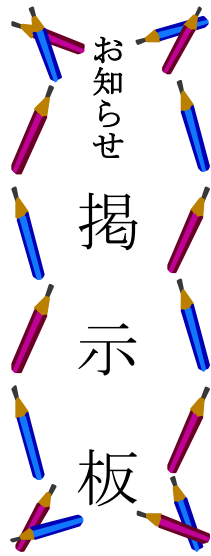
長崎県大村市杭出津2-708 0957-52-2247



いよいよ夏本番、

今年はどのような夏を迎えるのか、近年の気象変動を考えますと全く予想もつきませんが、何が起ころうともお念仏と共に歩

んで行ける身でありたいと思う事です。今号は、特集の写真はもちろん、みなさまからいただいたお声や、ご案内等も充実させております。どうぞ最後までごゆっくりお読みください。



### お知らせ 掲示板

#### ●夏休み児童大会（キャンプ）

##### 参加者募集

左記のように近隣のお寺にて募った子供たちが集い、キャンプをいたします。参加ご希望の方はお寺に直接ご連絡いただくか本新聞6ページに記載しておりますメールにて住所・氏名・年齢を記入の上、ご連絡下さい。

- ◎日程・・・8月22日(木)・23日(金)
- ◎場所・・・長崎県民の森キャンプ場
- ◎対象・・・小学校3年生～6年生

#### ●初盆参りがある皆様へ

今年の8月に初盆を迎えられるご家庭には全てお参りに出向きますが、日時は全てお寺で決めさせて頂いております。8月に入りましたらお電話にてご確認をお願い致します。

#### ●法要時のお弁当配布を終了

これまで長きに渡り法要の中日のお齋として赤飯等を詰めたお弁当を配布してまいりましたが、三月の彼岸をもって終了致しました。しかしお齋の用意が無くなった訳ではなく、会館にてお皿のご用意を始めております。どうぞ法要に参詣の折は、お席に着かれお齋を頂かれて下さい。



門徒会館（納骨堂下）でのお齋の様子。午前中終了後、お座り下さい。

### 正法寺近況

今年は少し早く4月中旬に庭の牡丹が満開となりました。



毎年いろんな方が写真を撮りに来られます。



今回の写真はいつも旅行でお世話になる名鉄観光平埜さんのお写真です!!



— 寄稿文 —

わたしの念仏

福山 恭子  
(池田/総代長の奥様)

正法寺にご縁をいただいで、三十年、それまでの私は子育てに追われお寺のことは考えたこともなかった。突然やってきたこのご縁に、前坊守様から「学習会にお出なさい」と言われて、何があるんだろうと興味をもって参加しました。初めの頃はわからなかった教えが少しずつわかるようになり、お寺の法要や婦人会行事などに参加するようになりました。今では朝夕のおつとめもごく自然にできるようになり如来様に見守られて今日も無事に過ごすことができただけなあと、親鸞様の尊い教えに感謝しています。これから正法寺の本堂に上がり、如来様の前で聴聞していきたいと思っています。とな「自分に聞こえる念仏は、私が称える念仏です」



お寺の行事から

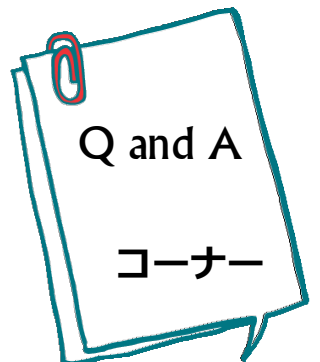
まだ寒さの残る二月、今年も総代会主催の春の親鸞講座が二日間開かれました。御講師に益田恵真師をお迎えし、「歎異抄」をテキストに学習をいたしました。今回はその時に皆様に書いて頂いた感想を掲載いたします。

とてもいい法話でした。  
もっと多くの方にも  
聴いていただきたいと  
思いました。

自分の生活に照らして  
反省することや、  
参考になることが  
沢山ありました。

何回聴いても  
その時は分かったようで  
すぐ忘れてしまう  
私です。

教えの意味など全く  
わかりません。これから少し  
ずつこのような会に参加  
させて頂いて勉強しなく  
てはと思います。



※質問形式でお応え  
してまいります。

Q 「お齋」って何ですか？

A. 忌明けや年忌法要など仏事の際の食事を「お齋」と言います。もともとインドの仏教では、朝と昼の二回だけの食事で、午後には食事を取らないという戒律を守っていました。その二回の食事のうち、朝食を「粥」と言い、昼食を「齋」と呼びました。このことから日本では戒律を守る仏教徒が食する正午以前の食事を齋と呼び、食すべき時の食事という意味で「とき(時)」という読みをあてました。その言葉が法要時の食事を「お齋」と呼ぶ由来です。  
「お齋」も仏事の一環です。様々ないのちをいただきながら、生かされている自分というものを確かめていく。そんな大切な法縁として「お齋」の場に身をおきたいものです。

# 洗心

洗心婦人会発行

会報 第4号

## 〈洗心婦人会主催 春の法要写真掲載特集号〉

今号は、五月の二十六日・二十七日に開催した春の法要の写真掲載特集号です。

今回の法要では、江崎理紗さん（九州教員勤務）のご協力のもといろいろな場面の写真を撮ることが出来ました。当日の様子を順を追って紹介致します。婦人会の皆様のお力添えでたくさんの子供たちが喜んでいらっしゃる様子をご覧ください。また、たくさんお花をお供えくださった立福寺町の方々、本当にありがとうございました。

●釋尊降誕法要（参加者／一般・婦人会）



嘆仏偈のお勤め中



### ●新生児初参り式

新生児ご家族は本堂正面よりお上がり頂きます



ご家族も一緒に、三帰依、三誓偈をお勤めしました



花祭りもお祝いしました



開始まではキッズコーナーで待ちます

お経いたただかせ



寺本先生の御法話



### ●昼食タイム

合掌みひかりのもと・・・、「いただきます」の練習。



休憩時間には、婦人会の方が淹れて下さった花祭りをお祝いする「甘茶」もいただきました。



今年は9家族の方々にご参加いただきました!!

新・住職が語る..

第4回 正信偈を知ろう!

法蔵菩薩四位時 在世自在王仏所  
 親見諸仏浄土因 国土人天之善悪  
 建立無上殊勝願 超発希有大弘誓  
 五劫思惟之摂受 重誓名声聞十方

ここからは「依経段」の弥陀章とよばれているところにはいりません。

「依経段」とは『仏説無量寿経』という經典を依り処とし、親鸞聖人が阿弥陀仏の本願を讃え、その由来を説かれたところですが、まず、法蔵菩薩と世自在王仏という二人の人物の名前が出てきます。法蔵菩薩とは阿弥陀如来が仏となられる前、菩薩として仏になるための修行をされていた時のお名前です。そして世自在王仏とは、法蔵菩薩の師である仏さまのお名前です。この辺りのことは『仏説無量寿経』に詳しく語られているので見てみましょう。

『遙か昔、世自在王仏という仏がおられた。ある時、一人の国王が世自在王仏の説法を聞いて、私も仏になって苦惱する人々を救

いたいと願い、国をすて王の位をすて出家者となり、法蔵と名のられた。法蔵菩薩はあらゆる人々をもらさずに救いたいという願いから、世自在王仏にあらゆる仏様方のお浄土の成り立ちを説いて下さいとお願いされた。世自在王仏は、その法蔵菩薩の志がとて尊く深く広いものであることを知り、この菩薩のために広く二百一十億の様々な仏様の国々に住む人々の善悪と、国土の優劣を説かれた。そして世自在王仏の教えを聞いた法蔵菩薩は、この上なくすぐれた願いをおこし、五劫という量りしれない時間をかけて、念仏するものをすべて救おうという誓願をたてられた。』

要約すると以上のような物語になります。正信偈でも、『この上なくすぐれた願い』・『かつてない広大な誓い』と讃えられているわけですが、法蔵菩薩は仏になるにあたりすべての人々を救いたいとの願いを立てられます。あらゆる仏様のお浄土の成り立ちを教えてほしいと願われたのは、それらのお浄土からもれた人々をどうやったら救えるのか考えるためでしょう。他の諸仏の浄土は、そこに生まれるために様々な条件

が必要でした。しかし法蔵菩薩は条件を付けることなく、どのような人も救いたいと願われ、「私の本願を信じて、私の名を称えたならば、だれでも私の国に生まれさせよう」との誓いをたてられてのです。

さて、親鸞聖人は阿弥陀仏の恩徳を讃えるにあたり、その因位である法蔵菩薩のご苦勞を讃えられています。普通なら修行を完成されて、本願を成就された後の果位である阿弥陀如来様だけを大切にいただくとなりがちです。私たちもそうでしょう。ですが、因である法蔵菩薩のご苦勞をいただいでいくということは、お念仏する身となつた私の中に、私のことを救いたいとの法蔵菩薩の願いがはたらいておるといただくということでしょう。私が称えるお念仏の声に、法蔵菩薩の呼びかけを聞いていく。お念仏する私の背景にある法蔵菩薩の願いをいただいでいく。自らが助かるための手段としてお念仏を自分のものとせず、如来の本願力によって自然と口から出てくるお念仏をいただいで欲しいということが、正信偈のこの部分には込められているのではないのでしょうか。

●子ども花祭り



先生のお話とゲーム



子供三帰依・念仏



坊守による歌あそび



献花・献灯・灌佛



花祭行進



ざぶんとん取りゲーム



婦人会による紙芝居  
子供達も朗読に挑戦!!



花祭りのうた



写真掲載特集号、いかがでしたか？婦人会の皆様は、本当にお疲れ様でした。今号を参考に、来年の参加をお考え頂けたらと思います。お待ちしております！

ちよつと一言

なぜ誕生仏に「甘茶」をかけるの？

お釈迦様の誕生時に竜が天から清水を注いだという故事がある事や、生誕の時に甘露の雨が降ったという言い伝えがある事から、花御堂の中におかれたお釈迦様に甘茶をかける風習があるようです。



●春の法要の写真は他にもたくさんあります。お寺にてご覧下さい。またその際、必要であれば写真を差し上げること出来ますので、申し出られて下さい。

●婦人会学習会（信楽会）では、「書いて学ぶ親鸞のことば 正信偈」をテキストに学習を進めています。

毎月28日の13時30分〜行っています。たくさんのご参加お待ちしております。

こちらが使用中のテキストです。正信偈をなぞって書いて、学んでいます。

正法寺にて販売中↓



## キッズメン

お寺の行事には子供に関わることも多くございます。花祭り・キャンプ・子供報恩講（佐世保別院）・子供特伝（京都行）そして近年開始予定の正法寺子供会など、このような行事の案内を欲しいという方を募集します。  
下記のEメールでも受け付け致しますので、どうぞお気軽にご連絡下さいませ。

**Eメール: syoubouji@gmail.com**

下記の必要事項記入の上、ご送信下さい。

- ①子供の名前②生年月日/年齢
- ③保護者の名前④住所⑤電話番号



募  
集  
中  
で  
す

## 台所奉仕

法要時の台所のお世話をして下さる方を募集しております。いろんな方々に関わって頂けるよう、登録カードを作りましたので、メンバーに登録してもよいと思われる方はお寺の方までご一報ください。参加回数が多くなられた際には、記念のお念珠をお贈りする予定です。  
左記のEメールにての登録も可能です。

全席名	受付日	...							
お名前	お電話番号	...							
ご住所	Eメール	...							
※お寺に届いた後、必ずお電話でお知らせ下さいませ。お電話は未定。									
※お寺に届いた後、必ずお電話でお知らせ下さいませ。お電話は未定。									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

正法寺  
台所奉仕カード

※カードはお寺で保管します

子供にとつては何の気概もない一瞬だったかもしれないですが、そんな一瞬を持ち難くなっている自分を、子供に気付かされました。



写真はその壁にいますお化けです。  
子供よりも長くこの家に住んでいるのに一度も気付かなかつた事実。仏さまの教えを聴いていると「凝り固まった自分の思いだけで周りをとらえているわたくし」を知らされる事がありますが、このお化け事件もそんな私の心内を知らせる出来事でした。

壁にもお化けがあるー！と叫ぶので駆けつけてみると、本当にお化けがこちらを見ていました。「笑いよるね、このお化け」と、お化けを見つけた喜びで満面の笑顔の長男。

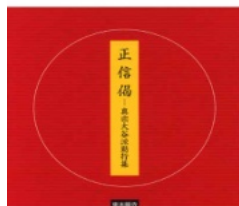


現在6歳3歳の男子を子育て中の坊守が書く「ブツ仏子育て記」。お寺で子育ての視点を中心に、お届けします。  
長男がお化けや怖い物に凝っていた時期、急に大きな声で「おかあーさーん、壁にもお化けがあるー！」

■ **書いて学ぶ 親鸞のことば—和讃**  
六〇〇円  
「書いて学ぶ」シリーズ第2弾。親鸞聖人が人々に親しみやすくつくられた和讃を、現代語訳と語句の意味を確認しながら、書いて学ぶ一冊。



■ **『真宗大谷派勤行集』(赤本)の練習用CD**  
一八〇〇円  
自宅でお勤めの練習をしたいと多くの方がお求めになつておられます。カセットテープもあります。



正法寺門徒会館に販売コーナーを設けております。新聞では皆様に好評なものの、ご紹介したいものの詳細を掲載してまいります。



販  
売  
コ  
ー  
ナ  
ー  
よ  
り

# 「通夜・葬儀のこころ」

通夜・葬儀にどのような意味があるのか、今一度見つめなおすためのリーフレットがごございます。内容は、

## ■随想

「『死』と共にある『いのち』」

## ■コラム

「『お経』『正信偈』って何ですか」「『清め塩』は不要です」

が掲載されています。読んでみたい方はもちろん、会葬礼などに挟んでの使用も可能です。関心のあられる方は、遠慮なくご相談下さい。  
(費用はかかりません)

京都の東本願寺出版の出版物です



通夜・葬式の会葬礼に挟んでお使いいただけます。

◆ **お寺の行事予定**  
📅 **これから**  
(平成25年7月～12月)

📅 **これまで**  
(平成25年1月～6月)

12月	11月	10月	9月	8月	7月
1～5 <b>御正忌法要</b>	10～11 <b>秋の親鸞講座</b>	19～22 永代経法要 婦人会主催敬老会 (永代経最終日)	20～24 <b>彼岸会</b>	13～15 <b>盆法要</b>	25～27 作上がり <b>盆法要</b>
6月	5月	4月	3月	2月	1月
	27 物故者追悼法要 26 婦人会法要 初参り式 子供花祭り	19～23 永代経法要	17～21 彼岸会	10～11 春の親鸞講座	10 総代講演会 28 婦人会初会

※ 詳しくは正法寺行事表でご確認下さい

お待ちしています

## ▽法要前の清掃奉仕

お寺からお送りしている法要の御案内状で、日時などを確認の上、ご参加下さい。近年、男性の参加者が減っておるようなので、男性の方も是非ご参加ください。

## ▽法要時のお野菜お供え

新聞冒頭でもお伝えしましたように、おときの弁当配布を終了し、お皿でのご用意を始めました。もし材料となるお野菜をお供え下さる方がおられましたら、法要前の清掃奉仕の日にお持ちください。



## ◇編集後記◇

春の法要写真掲載特集、いかがでしたか？感想文、メンバー募集、新連載など新たな記載・記事も増えました。どうぞ皆様のご意見もお寄せください。寄稿文・感想文など、随時受け付けております。

(編集責任者・坊守)